

主要課題10 男女共同参画を目指す教育・学習の促進

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
10-1 男女共同 参画を目 指す保 育・学校 教育の推 進	教育・保育内容の充実	子どもの人権を十分配慮し、多様な教育・保育ニーズ及び子育て支援等のサービスに対応するため、保育所・幼稚園・こども園に勤務する職員を対象に研修を実施し、資質向上を図ります。	100%	(実績) すべての就学前の子どもに質の高い教育・保育を提供し、専門家としての確かな力量を備えるため、こども園・幼稚園・保育園職員研修を実施した。 予算額：755,000円 決算額：605,288円  (評価コメント) 研修目的から内容を精査し、経験年数に応じた研修や専門性の向上を目指す研修を行い、専門的な知識や実践力を身につけられるような内容を計画・実施してきた。新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、研修内容や開催人数に応じて、対面開催やリモート開催を検討しながら研修の機会を保障し、様々なニーズや園の動向などを把握し、公私立園共に学びの場を確保し教育・保育の充実を図るため保育教育士の資質向上を行っていく。	A	保育総務課
	子育て支援・子育て相談の充実(再掲)	各保育所・幼稚園・こども園で乳幼児の子育てに関する相談を行います。また、子どもの交流や保護者同士の交流により子育ての情報交換等が行われ、子育ての不安解消と育児の楽しさを感じるとともに、安定した生活に繋がるよう支援します。	こども園 25園	(実績) ・在園児保護者に随時対応するとともに、感染予防対策をしながら個人懇談において子育て相談を実施した。また、未就園児に対しては、感染状況に応じて、人数制限等の感染対策に十分配慮しながら実施し、未就園児親子登園、園庭開放などの場を活用し、子育て相談の充実を図った。 ・各園のホームページを利用したり、市に来られた方へ各園の活動についてのポスターを掲示して啓発したりし、未就園児親子登園の情報発信を行った。  (評価コメント) 少子化・情報化・核家族化・コロナ禍での生活様式の変化等の社会状況が変化し、子育てに不安を感じる保護者が、子育ての喜びや生きがいを感じられるよう、子育て支援・子育て相談を実施した。今後とも保護者と共に育むという観点で取り組む。また、外部の相談機関についての情報も提供し、市全体で連携して子育て支援・子育て相談の充実を図る。	A	保育総務課
	中学生の乳幼児ふれあい体験の充実	幼稚園や保育園の乳幼児との触れ合いを体験し、乳幼児の生活への関心と子どもや家庭の大切さを学ぶ取り組みを充実させます。	—	(実績) 市立中学校で例年実施しているジュニアインターンシップ(探求型職場体験学習)については、新型コロナウイルス感染症の影響から実施することができなかったが、各校にてゲストティーチャーの招聘や調べ学習などを通じて理解を深める取組を実施した。  (評価コメント) 実際の体験場面を設定することはできなかったが、体験予定であった内容について理解を深める取組を各校にて実施することができた。	A	学校教育課
	指導方法の研修・研究の充実 ④：Ⅱ-(2)-④	各教科や領域の中で、男女共同参画の理念も踏まえた学習指導を行います。	—	(実績) 各教科や領域の中で、人権教育や性教育など男女共同参画の理解を深める学習を進めた。  (評価コメント) 男女共同参画社会を形成していく担い手としての子どもたちを育成するため、各教科や道徳・総合の中で、学習内容や学習方法に工夫を加え指導を進めている。	A	学校教育課
	人権学習教材資料の作成 ④：Ⅱ-(2)-④	あらゆる人権問題の解決を図るため、幼児・児童生徒用の発達段階を考慮した人権学習教材を作成し活用を図ります。	—	(実績)	B H30年度 で終了	学校教育課
	教職員研修の充実	校長や教頭等の管理職をはじめ、教職員を対象とした研修で、男女共同参画の理念を踏まえた学校運営についての意識化を図ります。	—	(実績) 令和3年度、教育センターを拠点とした「集合型研修」を32講座、Webを通した「リモート研修」を24講座、合計56講座実施した。  (評価コメント) 教員を対象とした研修講座の内容において、男女共同参画の理念を踏まえた学校経営や学級経営の意識化を図ることができるように取り組んだ。	A	教育支援・相談課

④：奈良市女性活躍推進計画【基本方向】-【主要課題】-【施策の方向】

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
10-1 男女共同 参画を 目指す保 育・学校 教育の推 進	特別支援 教育相談事業	教育センターを核に、男女共同参画の視点に立った教育相談を充実させるとともに、特別な支援を必要とする子どもたちの発達や就学についての保護者の相談や、教員からの特別支援教育に関する相談などの支援を行います。	1,200件	<p>(実績)</p> <p>特別な支援を必要とする子どもたちの発達や就学についての保護者の相談や、教員からの特別支援教育に関する相談として、317件の来所相談に対応した。新型コロナウイルス感染症対策に伴う来所相談の制限・調整により、相談件数は令和元年536件、令和2年404件と、ここ2年間減少している。一方で、電話による相談は令和元年の324件から令和2年634件、令和3年2,095件と大幅に増加している。</p> <p>(評価コメント)</p> <p>特別な支援を必要とする子どもたちや保護者及び教員の相談や訪問観察、発達検査を行うとともに、障害特性に応じた家庭・園・学校での適切な支援の方法についての相談・指導助言を行っている。また、特別な支援を必要とする幼児児童生徒について、就学やことばの発達に関わる相談に対応している。来所件数自体は減少傾向にあるように見えるが、特別な支援に関するニーズは依然として高いままである。新型コロナウイルス感染症対策に伴い対面での相談を制限・調整していることもあり、代わって電話相談にて対応しているケースが増えている。</p>	A	教育支援・ 相談課
	地域における 男女共同参画の 推進事業	奈良市人権教育推進協議会の活動を通じて、地域における男女共同参画の推進を図ります。	—	<p>(実績)</p> <p>地区別研修会：18地区 参加者数 335人 ぶらり散歩：14地区 参加者数 242人 指導者講座：中止</p> <p>(評価コメント)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年同様な人数を制限しながら、工夫をし開催した。今後も感染症対策を講じながら、多くの人に参加できるように実施していく。</p>	A	共生社会 推進課
	高齢者生きがい づくり事業	高齢者が生きがいを持って、心豊かな生活を送るための事業を実施します。	—	<p>(実績)</p> <p>東人権文化センター：事業数1事業・開催回数3回 参加者数延べ19人</p> <p>(評価コメント)</p> <p>参加者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら講座を実施した。今後もより多くの方に参加してもらえよう内容の充実・周知を図る。</p>	A	共生社会 推進課
	女性学級	女性の社会参加が急速に進む中、女性の自主的な学習意欲に基づき豊かな人間性を培い、社会人としてその資質や能力を向上させる学習機会を提供します。	—	<p>(実績)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら女性対象事業を実施した。 中人権文化センター：事業数1事業 開催回数5回 参加者数延べ39人 東人権文化センター：事業数1事業 開催回数6回 参加者数延べ76人</p> <p>(評価コメント)</p> <p>取り組みを通じ、交流と親睦を深めることができた。また、女性の持つ悩みや課題を出し合い、支え合う仲間づくりの大切さを実感することができた。</p>	A	共生社会 推進課
10-2 男女共同 参画を 目指す生涯 学習の推 進	講座・教室の開催	講座や教室を開催し、その中で男女共同参画を目指す生涯学習を推進します。	—	<p>(実績)</p> <p>北人権文化センター：講座数2講座・開催回数36回・参加者数延べ498人 中人権文化センター：講座数2講座・開催回数21回・参加者数延べ76人 東人権文化センター：講座数4講座・開催回数27回・参加者数延べ156人</p> <p>(評価コメント)</p> <p>各種講座を開催することにより、参加者が自主的・主体的に学ぶ意識を育み、講座で取扱う内容についての理解と認識が深まった。</p>	A	共生社会 推進課

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
10-2 男女共同 参画を 目指す生涯 学習の推 進	教育・保育内容の充実 (再掲)	子どもの人権を十分配慮し、多様な教育・保育ニーズ及び子育て支援等のサービスに対応するため、保育所・幼稚園・こども園に勤務する職員を対象に研修を実施し、資質向上を図ります。	100%	(実績) すべての就学前の子どもに質の高い教育・保育を提供し、専門家としての確かな力量を備えるため、こども園・幼稚園・保育園職員研修を実施した。 予算額：755,000円 決算額：605,288円  (評価コメント) 研修目的から内容を精査し、経験年数に応じた研修や専門性の向上を目指す研修を行い、専門的な知識や実践力を身につけられるような内容を計画・実施してきた。新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、研修内容や開催人数に応じて、対面開催やリモート開催を検討しながら研修の機会を保障し、様々なニーズや国の動向などを把握し、公私立園共に学びの場を確保し教育・保育の充実を図るため保育教育士の資質向上を行っていく。	A	保育総務課
	生涯学習の充実 (再掲)	固定的性別役割分担意識を解消し、あらゆる分野における男女共同参画を推進する公民館事業を展開し、男女が多様な生き方の選択ができるよう広く意識の浸透を図ります。	200講座	(実績) 講座数：262講座、開催回数：767回、参加者数：延べ19,443人 予算額：3,886千円、決算額：3,885千円  (評価コメント) 高齢者の生きがいづくり事業や女性学級等の実施、家庭教育の充実、男性の家事・育児等への参加促進など、生涯学習の充実を図った。開催にあたっては、夜間及び土日の開催、託児の実施など、多様な参加者を得られるように努めた。	A	地域教育課
	家庭教育の充実 (再掲)	学習内容に男女平等観に立った家庭生活や子どもの養育が行われるよう、家庭教育の充実を図ります。また、女性の学習活動の進展と機会を充実を図り、女性を取り巻く諸問題を考えます。	10館	(実績) 実施館：11館、開催講座数：19講座、参加者数：延べ425人 予算額：360千円、決算額：327千円  (評価コメント) 公民館を拠点として地域住民が家庭教育について話し合い、子どもや家庭を取り巻く諸問題の解決をめざした。具体的には、子育てに関する悩みを共有し、親子で参加できる講座などを開催した。公民館と支援者・当事者の交流を深め、家庭と地域の繋がりがつくりを進めることができた。	A	地域教育課
	図書資料貸出	図書館資料を充実し、閲覧及び貸出に供するとともに、男女共同参画週間に関係本の特集コーナーを作ります。	—	(実績) ・コロナ禍のため閲覧制限や臨時休館などの対応を行い、予約本のみを受け渡し、椅子を撤去した閲覧室の利用を行った。 ・非接触型図書館利用ができるよう電子図書館の利用開始、自動返却装置・予約本取り置きコーナーの新設・図書消毒機の導入など感染予防対策を行った。 ・図書の郵送貸出しサービスを実施し、大和西大寺駅自由通路に返却ポストを新設した。 ・事業推進に係る図書資料の収集に努め、幅広い閲覧や貸出を行った。  (評価コメント) 事業関係課と協力した特集展示は、コロナ禍等の時期等も考慮し今後も実施していきたい。	A	中央・西部・北部 図書館

主要課題11 人権の尊重と女性への暴力の廃絶

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
11-1 DV基本 計画に基 づいた対 応	「住民基本台帳事務における支援措置申出書」による住民票等の閲覧及び交付の制限	DV被害者等から「住民基本台帳事務における支援措置申出書」を受理した場合、本人以外からの住民票請求等に応じないこととして、被害者情報を保護します。	—	(実績) 令和3年度支援措置申出受付数 世帯(延べ)603世帯 ・ 人数(延べ)1,386人  (評価コメント) ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為、児童虐待及びこれらに準ずる行為の被害者保護の支援措置の申出により、住民基本台帳の閲覧及び住民票、戸籍の附票の発行に制限をかける措置をとることで被害者の住民情報の保護を図った。また各相談機関及び市内各出張所や各行政センター等との連絡調整し関連する他の市区町村とも連携し被害者の支援に当たった。	A	◎市民課  各行政 センター  各出張所

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
11-1 DV基本 計画に基 づいた対 応	DV施策の充実	「DV防止及び被害者の保護と自立支援計画」に基づき、DV防止と被害者の保護及び自立支援を総合的かつ計画的に推進します。		(実績) *DV防止及び被害者支援基本計画実施計画進捗状況報告書にて報告  (評価コメント)		男女共同 参画室  関係各課
11-2 暴力の発 生を許さ ない環境 づくり	セクシュアル・ハラスメントに対する市職員の認識を深めるための啓発活動及び防止対策の推進  ④：Ⅱ-(2)-①	「職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する指針」に基づきセクシュアル・ハラスメントの防止とその啓発を図るとともに、発生した事案に対しては適切に対処する体制の整備・充実に努めます。	-	(実績) 職員ポータルにて啓発通知を行った。  (評価コメント) 指針に基づき啓発を図るとともに、事案が発生した場合には事実関係の把握を行い適切に対処することとしている。また、マタニティハラスメント防止についても併せて通知し啓発を行った。	A	人事課
	犯罪被害者支援センター支援事業	犯罪被害者支援ネットワークに加盟し、犯罪被害者支援センターを支援します。	-	(実績) 公益社団法人なら犯罪被害者支援センターと締結している「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」に基づき、事業や啓発活動に相互に協力して実施した。  (評価コメント) 奈良市犯罪被害者等支援条例の制定に伴い締結した「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定」により、奈良市と支援センターとの関わり方が、支援から連携協力へ発展し、一方に相談のあった犯罪被害者等に必要とする他方の支援をつなげるなど、双方向的に関わることができた。	A	共生社会 推進課
	暴力の発生を許さない環境づくりの啓発	身近にある全ての暴力に対して許さないという意識作りのための啓発を図ります。	-	(実績) 幅広い年代や様々な立場の人にもDV防止の意識啓発を促すために、DV防止啓発動画を市ホームページ上で公開した。さらに、市役所職員としてDV防止及び被害者支援の基礎知識を学ぶ場として、市職員向けDV研修をオンライン上で実施し、各課より2名以上の参加を得た。また、配偶者暴力相談支援センターのリーフレットやDV相談ダイヤルカード、DV・デートDV啓発リーフレットを活用して継続的に啓発に努めた。  (評価コメント) 今後もDVへの正しい知識と理解を広めることでDV防止へと繋げていく。	A	男女共同 参画室  関係各課
	DV相談窓口の周知	相談窓口や相談機関等の情報を掲載したリーフレット等を公共施設や関係機関に配置し、広く市民に周知します。	-	(実績) DVカードとDVリーフレット、配偶者暴力相談支援センターリーフレットとDV相談ダイヤルカードを活用し、DV相談窓口の周知に努めた。また、しみんだよりにDVの特集記事を掲載した他、毎月必ずDV相談ダイヤルの案内を掲載し、DV相談窓口の周知に努めた。  (評価コメント) 引き続きDVリーフレットやDV相談ダイヤルカードでのDV防止啓発に加え、DVで悩む人への支援機関と相談ダイヤルのさらなる周知を図り、一人でも多くの被害者支援を目指す。	A	男女共同 参画室
	障がい者虐待相談	障がい者虐待に関する相談に応じます。また、障がい者虐待防止に関して啓発を図ります。	-	(実績) 障がい福祉課内に設置している奈良市障害者虐待防止センターにて対応。令和3年度の障害者虐待相談受付件数は27件あり、そのうち女性は4件、さらにそのうち1件についてはDV問題相談で担当課に情報共有した。なお、全体27件のうち4件を障害者虐待として認定しているが、調査中のケースもあり、虐待件数が増える可能性もある。  (評価コメント) 障害者虐待の背景には様々な要因が複雑に影響しており、困難度は高く関係課の協力が必須であり、更なる連携強化が必要である。	A	障がい 福祉課

④：奈良市女性活躍推進計画 【基本方向】 - 【主要課題】 - 【施策の方向】

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
11-2 暴力の発生を許さない環境づくり	高齢者虐待相談	高齢者虐待に関する相談や介護ストレスを抱えている家族の相談に応じます。	—	(実績) 地域の高齢者の相談窓口である地域包括支援センターにおいて、高齢者本人及びその家族等からの相談に応じた。その中で高齢者虐待の疑いがある場合には、虐待通報シートを作成し、長寿福祉課と担当地域包括支援センターと協同して支援方針を決定し対応を行った。  (評価コメント) 様々な内容の相談がある中で、関連する関係課及び関係機関と連携して対応していく必要があるため、今後についても早期に情報共有等を図り、早期に高齢者本人及びその家族等への支援にあたっていきたい。	A	長寿福祉課
	人権啓発事業主研修開催 ◆：I-(2)-①	奈良市雇用促進連絡協議会と奈良市企業人権教育推進協議会との共催による、事業主対象の研修会を開催します。	—	(実績) 演題：「上司と部下のコミュニケーション～身近に潜むハラスメント～」 参加者：市内事業所を対象に、34名の参加  (評価コメント) 具体的な事例を交えたわかりやすい説明により、イメージを描きやすく理解を深める事ができた、より良いコミュニケーションを実践的に学ぶことができたとの声が多かった。一人一人が働きやすい職場環境を目指し、パワーハラスメントの防止への取り組みを引き続き実施する。	A	産業政策課
	相談業務（窓口）の啓発と充実	児童・生徒の悩みに答える相談業務（窓口）の啓発と、女性相談員の配置等による相談体制を充実し、関係機関との連携によりその効果的な対応と解決を図ります。	—	(実績) 2,043件 (内SNSアプリによる相談 120件 メールによる相談 4件 電話による相談 127件)  (評価コメント) 近年の児童生徒のニーズに合った相談方法として、SNSアプリによる相談を実施している。また、ストップいじめならダイヤルでは24時間相談可能な体制を取っている。女性指導主事や相談員を配置することで相談をしやすくなっている。	A	いじめ防止生徒指導課
	街頭指導活動の強化	各中学校区において少年指導委員等による街頭指導を実施し、青少年の行動実態把握に努めるとともに、問題行動に関わる青少年に対し、学校や関係機関と連携して指導を行います。	1,250回	(実績) 街頭指導活動 528回  (評価コメント) 奈良市教育委員会が委嘱する少年指導委員の半数以上が女性であり、子どもの安全・安心を守るための活動や青少年健全育成のための活動に参加・活躍をしている。なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染症対策を講じた上で可能な範囲での活動を実施した。	A	いじめ防止生徒指導課
	有害環境への立入調査及び指導	警察との連携・協力の下に青少年に有害な図書やビデオ等を販売する店舗に対し、販売の自主規制や展示場所の適正化を求めため、立入調査指導を実施します。	2回 (店舗数 20店)	(実績) 1回(店舗数 8店)  (評価コメント) 有害環境があると思われる店舗へ女性を含めた担当者が立ち入り調査に参加することで、女性の視点から見えてくる店舗の課題等を指摘し、立ち入り検査の結果を地域に還元することができた。	A	いじめ防止生徒指導課

◆：奈良市女性活躍推進計画【基本方向】-【主要課題】-【施策の方向】

主要課題12 女性の健康の増進と福祉の向上


施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
12-1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに基づいた施策の推進	リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の浸透	女性の生涯を通じた健康支援の総合的な推進を図るため、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの正しい知識や情報の収集を行い、認識を深めます。	—	(実績) 市公式HPにリプロダクティブ・ヘルス/ライツのページを設け、市関係機関で実施している事業を案内すると同時に引き続きリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて分かりやすく説明したページを掲載し、意識の浸透を図った。  (評価コメント) 今後も全ての方がジェンダーに基づく暴力などによって傷つけられず、身体・性について正しい知識を持ち、生涯にわたって選択が尊重される社会作りに繋げていく。	A	男女共同参画室
	エイズ対策推進事業	新規HIV感染者が多い若年層へのエイズに関する普及啓発が重要なことから、高校生を対象としたエイズ予防教育の実施により、正しい知識の普及を図ります。	—	(実績) ・HIV即日検査 第1・2月曜日 11件(うち夜間:3人) ・性感染症(HIV)検査 第3月曜日 7件 ・啓発活動 ①世界エイズデーに関わるポスター・パンフレットの配布。配布先:医療機関・中、高等学校・大学・専修学校等440か所 ②パネル展示。展示場所:奈良市役所・はぐくみセンター、パンフレット配布約30部  (評価コメント) 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で事業を縮小して実施した。検査では新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いている期間に検査を実施し、世界エイズデーには夜間検査を実施できた。電話相談の内容から性感染症検査の需要は高いと思われるので、令和4年度は昨年度より受検者数を増やせるよう検査体制を見直し、実施を目指す。インターネットを閲覧して受検申込をされる人が多く、ホームページやSNSによる周知啓発を引き続き行う。相談体制としてはLGBT・セクシュアルマイノリティについての理解と受け止めが必要であり、感染予防への行動変容を促すことができるよう支援の質の向上を目指す。	A	保健予防課
12-2 ライフステージに応じた健康管理の推進	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)	助産師等の訪問員が、生後4か月未満の乳児を育てるすべての家庭を訪問し、出産後の様々な不安や悩みの傾聴と子育てに関する情報提供を行います。	99.5%	(実績) 家庭訪問対象者 1,533人 家庭訪問数 1,525人 面接率 99.5% 予算額 6,222千円 決算額 5,243千円  (評価コメント) 面接ができなかった人も他機関での現認等ができており、把握率は100%となっている。引き続き把握率100%を目指していく。	A	子育て相談課
	養育支援訪問事業	こんにちは赤ちゃん訪問の後も継続して養育に関する相談・助言が必要な家庭に、保健師等の支援員が家庭訪問を行います。	—	(実績) 対象家庭数 48件 延訪問件数 373回 予算額 2,213千円 決算額 2,188千円  (評価コメント) こんにちは赤ちゃん訪問事業から早期に対象者をキャッチし、ニーズに合わせた適切な支援の継続に努める。	A	子育て相談課

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
12-2 ライフ ステージに 応じた健 康管理の 推進	はじめての ママパパ教室	妊娠22週以降の初妊婦を対象に、講義やグループワーク、パパや家族も参加の沐浴実習を行い、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及を図ります。	—	(実績) 新型コロナウイルス感染症のため、実施できず。  (評価コメント) 奈良市ホームページ(ママパパサロン)に沐浴や着替えに関する、動画や教室で使用している資料を掲載し、情報提供を行った。	A	母子保健課
	妊産婦・新生児訪問指導	妊産婦の健康管理や新生児期の発育・栄養・環境等について適切な指導を行うため、助産師及び保健師が必要に応じて訪問を行います。	—	(実績) R4.5月中旬に確定  (評価コメント) 妊娠届出期から支援の必要性を検討し、疾病、産褥期の健康管理、家庭環境に対して保健師、助産師が訪問指導を行っている。また、出産後に保護者から連絡があった産婦、新生児に対しても保健師、助産師が訪問を行い育児不安の軽減を図っている。	A	母子保健課
	未熟児訪問指導	未熟児を対象に訪問を行い、保護者の育児不安の解消を図るとともに、医療との連携を図りながら適切な支援を行います。	—	(実績) R4.5月中旬に確定  (評価コメント) 養育医療申請や医療機関からの連絡、保護者からの連絡があった未熟児に対し、合併症または後遺症の発現に留意し、保健師、助産師が訪問を行い育児不安の軽減を図っている。	A	母子保健課
	各種乳幼児健康診査	4か月児、10か月児、1歳7か月児、3歳6か月児を対象に健康診査を行い、疾病の早期発見・早期治療と適切な育児指導を行うとともに、子どもの心身の安らかな発達の促進、育児不安の軽減を図ります。	—	(実績) 4か月児健康診査 対象者数：2,023人、受診者数：1,989人(受診率98.3%) 10か月児健康診査 対象者数：2,039人、受診者数：1,987人(受診率97.4%) 1歳7か月児健康診査 対象者数：2,242人、受診者数：1,946人(受診率86.8%) *新型コロナウイルスのため集団方式は2回実施。6～2月に個別方式で実施。 3歳6か月児健康診査 対象者数：2,448人、受診者数：2,053人(受診率83.9%) *新型コロナウイルスのため集団方式は3回実施。6～2月に個別方式で実施。  (評価コメント) 新型コロナウイルス感染症の影響で、健診の体制を大きく変更せざるをえなかった。受診率向上のため、関係機関に各種健診の受診勧奨ポスターの掲示を依頼し、啓発に努めている。	A	母子保健課
	きしゃぼっぽ教室	1歳7か月児健診、3歳6か月児健診の事後指導の場として教室を開催し、遊びやグループワークを通じて子どもの発達や発達段階に応じた適切な関わり方を学び、育児不安の軽減を図ります。	—	(実績) 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、回数を減らして実施。 実施回数：4回。参加児数24人、保護者25人  (評価コメント) 子どもの発達や適切な関わり方を学び、親同士が悩みを共有することで育児不安の軽減につなげることが出来た。(R4年度は子どもセンターの親子教室へと事業が移行。本事業は、R3年度で終了)	B  R3年度 で終了	母子保健課

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
12-2 ライフ ステージに 応じた健康 管理の 推進	療育指導事業	長期にわたり療育を必要とする児童に対し、相談や家庭訪問、関係機関との調整などを行い、日常生活における健康の保持増進及び育児不安の軽減を図ります。	—	(実績) 支援対象者：32件 支援延べ回数：92回  (評価コメント) ライフステージや身体状況、医療処置等の状況が様々になっており、それぞれの機会に応じた支援を関係機関と連携を取りながら実施している。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、相談や事業を縮小して実施した。	A	保健予防課
	各種健(検)診	がん・脳卒中・心臓病などの生活習慣病予防対策の一環として、これらの疾患の早期発見、早期治療を目的に、健康診査、がん検診等各種検診を実施します。	—	(実績) 健康診査 : 受診者数 539人 大腸がん検診 : 受診者数 30,354人 胃がん検診 : 受診者数 1,857人 肺がん検診 : 受診者数 2,948人 子宮頸がん検診 : 受診者数 10,650人 乳がん検診 : 受診者数 8,246人 歯周疾患検診 : 受診者数 296人 骨粗しょう症検診 : 受診者数 1,418人 肝炎ウイルス検診 : 受診者数 483人 胃がんリスク検診 : 受診者数 3,291人 胃がん内視鏡検診 : 受診者数 1,575人 肺がん低線量CT検診 : 受診者数 116人  (評価コメント) がんが原因で亡くなる方が多い中、がん検診の受診者数が減少傾向にあるため今後も引き続き啓発による受診勧奨に努める。	A	健康増進課
12-3 健康づくりに 関する情報 提供と相談 窓口の充実	スポーツ教室・講習会の開催	市内の9地域で、青少年から高齢者を対象としたスポーツ教室・講習会を開催します。	1,800人	(実績) スポーツ教室は、9ブロック中4ブロックが9回教室を開催した。スポーツ講習会は直前で中止となった。参加者数：218名 予算額：255千円 決算額：97千円  (評価コメント) 新型コロナウイルス感染症の影響で全ブロックの開催は叶わなかったが、地域の実態に応じて感染拡大防止対策を十分に講じた上で一部開催することが出来た。	A	スポーツ振興課
	すくすく相談	乳幼児の心の発達について相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。	—	(実績)  (評価コメント)	B H28年度で終了	母子保健課 (健康増進課)



施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
12-3 健康づくりに関する 情報提供と相談 窓口の充実	発達相談	1歳7か月児健診、3歳6か月児健診後の指導が必要な幼児の発達検査を行い、早期に適切な相談を行うとともに、必要に応じて医療、療育に繋げ発達を援助します。	—	(実績) 相談者数：231人  (評価コメント) 主に1歳7か月児健診後に、客観的な指標（発達検査）を元に保護者と子どもの発達について理解を深める場となっている。1歳後半から3歳にかけての相談が多い。幼児健診が個別受診となったことで、保健師などの個別相談の場がなくなり、不安を抱えて相談に至るケースも多かった。関係機関とも連携を図り支援できた。	A	母子保健課
	5か月児離乳食教室 (ばくばく教室)  1歳0か月児むし歯予防教室 (歯びか教室)	5か月児とその保護者を対象に離乳食教室（ばくばく教室）で離乳食・子どもの成長・子育て等についての講義、1歳0か月児とその保護者を対象にむし歯予防教室（歯びか教室）で歯の手入れの講義と実習を行います。（平成27年度～むし歯予防教室の対象者・事業名変更）	—	(実績) 5か月児離乳食教室 実施回数1回 参加者数：12組*左記開催以外は、新型コロナウイルスのため、集団での教室の実施は中止。その間は個別相談にて対応。→個別相談：123件 1歳0か月児むし歯予防教室も新型コロナウイルス感染症を考慮し、個別相談にて対応。→個別相談：47件  (評価コメント) 感染予防を図り、主に個別相談にて対応。参加者同士の交流などは出来なかったが、離乳食に関する知識の普及や相談窓口の情報提供などは行うことが出来、また個別相談では、各々の相談ニーズに応じ、きめ細やかに対応できたことで満足度は高かった。	A	母子保健課
	保育所・幼稚園 歯科指導	乳歯のむし歯予防と健全な永久歯の発育をめざし、保育所・幼稚園児及び保護者を対象に歯の講話と歯科指導を実施します。	—	(実績)  (評価コメント)	B R1年度 で終了	母子保健課
	食生活改善 推進員養成講座	「自らの健康は自らの手で守る」という意識を高め、それを食生活の改善を通じて実践できる住民を養成します。また、男性会員を増やし協議会活動の活性化を図ります。	100人	(実績)  (評価コメント)	B H29年度 で終了	健康増進課
	地域における 健康教育・健康相談	公民館等の地域で、中高年に対する生活習慣病予防のための健康教育・健康相談を行います。	健康教育 3,000人  健康相談 1,000人	(実績) 健康教育 31回 8,562人 (うち40～64歳 2,270人) 健康相談 473回 1,193人 (うち40～64歳 468人)  (評価コメント) 新型コロナウイルス感染症により健康教育の実施回数は減少しているが、インターネットやアプリ等を活用することで壮中年期をねらった健康づくりに取り組むことができた。今後も引き続き健康増進法の対象となる壮中年期への啓発に努める。	A	健康増進課
	妊産婦・乳幼児 健康相談	妊娠中又は乳幼児期の子育てに関する不安や心配事について、保健所と西部会館の相談室で保健師・助産師等が相談に応じます。また、公民館等も巡回します。	—	(実績) 相談者数 母子保健課（都祁・月ヶ瀬含む）：2,070人（内訳：来所 1,582人、電話 488人） 西部相談室：298人 公民館等巡回相談（都祁・月ヶ瀬のみ実施）：55人  (評価コメント) 保健師、歯科衛生士、栄養士、心理士など専門職が、様々な相談にタイムリーに応じ、育児不安の軽減を図ることが出来ている。	A	母子保健課

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
12-4 男女共同 参画の視 点に立っ た高齢者 等の福祉 の充実	老人福祉センター の充実	老人に対し各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図ります。	4箇所	(実績) 新型コロナウイルス感染拡大の防止のため施設の休館及び一部使用制限を行ったが、可能な限り利用していただけるよう消毒等を徹底したうえで施設運営を実施した。各福祉センターにて高齢者に対し健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者福祉の増進を図り、38,188名が施設を利用された。  (評価コメント) 高齢者の健康の増進、教養の向上、レクリエーションのための便宜の総合的な供与及び各種の相談に応じられる場所として、今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しつつ、福祉センターの充実を図っていく。	A	長寿福祉課
	シルバー人材センター 補助事業  : I - (2) - ②	シルバー人材センターに対し事業補助を行うことにより、事業内容等の拡充や高齢者の就業機会の拡大を図ります。	-	(実績) 登録会員数：女性 498名 男性 1,046名  (評価コメント) 引き続き、シルバー人材センターへの支援を行い、事業内容等の拡充や高齢者の就業機会の拡大を図る。	A	産業政策課

主要課題13 男女共同参画を目指す意識変革の促進・浸透

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	令和3年度実績	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
13-1 固定的な 性別役割 分担意識 をなくす 世論の醸 成・浸透	人権尊重に係る 啓発事業の実施	女性の問題を含む様々な人権問題の理解を進めるための事業を実施します。	-	(実績) 「人権を確かめあう日」記念集会：中止 人権ふれあいのつどい：57人 ハートフルシアター：105人  (評価コメント) 様々な人権問題の解決を図るため、啓発事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため例年通り開催することが難しかった。今後も感染症対策を充分講じながら実施していく。	A	共生社会 推進課
	視聴覚教材の 整備及び活用	女性の人権問題に関する視聴覚教材の整備及び活用を図ります。	-	(実績) 所蔵図書：90冊 所蔵ビデオ・DVD：15本  (評価コメント) 所蔵図書・所蔵ビデオ・DVDの貸出はなかった。今後は研修会等で活用してもらうようツイッターやホームページで積極的に周知していく。	A	共生社会 推進課
	図書の整備及び活用	男女共同参画社会作りのための啓発図書を充実し、貸し出しを行います。	-	(実績) 女性・女性史・男女平等参画など 893冊（うち令和3年度新規購入 6冊）  (評価コメント) 令和3年度は1件の貸出実績があった他、職員の研修資料として活用できた。今後も定期的に図書を購入することで、新しい情報の発信を行い、より多くの人に利用してもらえるよう努める。	A	男女共同 参画室
	男女共同参画に関する 市民意識調査の実施	男女共同参画に関する市民の意識を把握するため、5年に1回調査を実施し、調査結果を今後の政策に活かします。	-	(実績) 平成21年7月に実施以降は実績なし。令和元年度に市民意識調査で男女共同参画に関するものを2問実施。  (評価コメント) 平成21年度の調査では、家事・育児等における性別役割分担意識（男は仕事・女は家庭）について、否定的な意見が49.9%であったのに対し、令和元年度は71.5%と市民意識に変化が見えてきた。次回の実施については、時期や方法を総合的に検討していく。	A	男女共同 参画室

施策の方向	事業名	事業内容	目標値 (R3年度)	(実績)	今後の方向性 A継続 B終了	担当課
13-1 固定的な性別役割分担意識をなくす世論の醸成・浸透	男女共同参画情報誌の発行	男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるため、情報誌「和音・なら」の発行により、時代の変化に即した情報を提供します。	—	(実績) 男女共同参画情報紙「和音・ならvol.37」発行 3,000部×1回  (評価コメント) 令和3年度は「性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」と「性暴力をなくそう」という2つの特集記事を掲載し、性差による役割分担意識の解消や、若年層女性への性暴力の防止について啓発に努めた。また、講座の報告や各相談窓口の案内を掲載し、周知に努めた。	A	男女共同参画室
	講座・講演会等の開催	性別役割分担意識を始めとする固定的な性差感の解消と、男女平等意識の定着に向けた講座・講演会等を開催します。	—	(実績) ・話し方講座～新しい生活様式のもとでの言葉コミュニケーション～(全5回 延べ受講者53名) ・夏の父子講座「フィルムケースロケットを作って飛ばそう」(全1回 参加者7組14名) ・「アンガーマネジメント講座」(全1回 参加者15名)  (評価コメント) 参加率の低い講座はあったものの、いずれの講座も満足度は高く、ワーク・ライフ・バランスへの関心の高さを実感した。今後も、講演会・研修会を通じて性別役割分担意識の解消への啓発を行っていきたい。	A	男女共同参画室
	人権啓発事業の実施	女性の問題を含む人権問題に対する理解を深めるための啓発事業を実施します。	—	(実績) センターだよりの発行、啓発展示コーナーの設置等の啓発事業を実施した。 北人権文化センター：「北人権・文化フェスタ」啓発展示 参加者数延べ147人 中人権文化センター：「反戦・平和展示会」 参加者数延べ75人 東人権文化センター：「啓発展示会」 参加者数延べ205人 南人権文化センター：「～明日への笑顔～」 参加者数延べ282人  (評価コメント) 人権啓発の拠点施設として、センターだよりの発行や啓発展示コーナーでの展示など、人権意識の向上を図った。また、開催を予定していた人権フェスタは多数の来場者が集まり交流する従来の方法を避け、代替事業として感染防止対策ができる啓発展示を実施し、期間を拡大することで来場者の分散を図った。	A	共生社会推進課
	女性の人権尊重の更なる啓発	古くから伝わる伝統文化の慣習や偏見をジェンダーにとらわれない視点で見つめ、女性の人権尊重の意識作りを図ります。	—	(実績) 市役所1階連絡通路にて女性の人権尊重を促す啓発パネル展を実施した。 ・男女共同参画週間(パネル展期間：令和3年6月21日～6月25日) ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間(パネル展期間：令和3年11月15日～11月19日) ・国際女性デー(パネル展期間：令和4年3月7日～3月11日) また、奈良市立図書館3館において、それぞれの期間、関係図書を掲示した。  (評価コメント) 多くの市民が訪れる市本庁舎連絡通路において、パネルの展示を行い、また図書館にて関係図書を掲示することにより、さらなる女性の人権を尊重する意識の醸成をはかった。	A	男女共同参画室
13-2 男女共同参画の視点からの習慣・しきたりの見直し	男女共同参画情報誌の発行(再掲)	男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるため、情報誌「和音・なら」の発行により、時代の変化に即した情報を提供します。	—	(実績) 男女共同参画情報紙「和音・ならvol.37」発行 3,000部×1回  (評価コメント) 令和3年度は「性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」と「性暴力をなくそう」という2つの特集記事を掲載し、性差による役割分担意識の解消や、若年層女性への性暴力の防止について啓発に努めた。また、講座の報告や各相談窓口の案内を掲載し、周知に努めた。	A	男女共同参画室